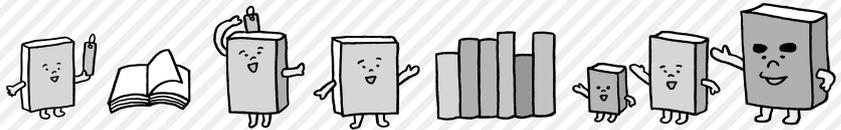


# 図書館へ行こう! 9月号



9月、長月に入りました。日増しに夜が長くなるので「夜長月」。それが「長月」になったといわれています。まだまだきびしい残暑が続きますが、図書館では初秋の特集などを設けていろいろなコーナーに楽しい本が並んでいます。手に取ってお気に入りの一冊を見つけてみてください。

## 今月の読み聞かせ

おはなしひろば 毎週火曜日 10:30～11:00(おはなしひろば)  
おはなしルーム 竹田幼稚園 9月 9日(木) 14:00～14:30  
南部幼稚園 9月 2日(木) 14:00～14:30  
たけのこ文庫のおはなし会 9月 11日(土) 15:00～15:30

## 開館のご案内

**竹田市立図書館(TEL&FAX 63-1048)**  
開館時間 午前10時～午後6時/休館日 月曜日・第4金曜日  
**荻駅交流館図書室(TEL&FAX 68-2200)**  
開館時間 午前10時～午後6時/休館日 土・日・祝日等  
**久住図書室(TEL 76-0717/FAX 76-0724)**  
**直入図書室(TEL 75-2211/FAX 75-2217)**  
開館時間 午前8時30分～午後5時/休館日 土・日・祝日等

## 新刊のご案内

### 【一般書】

- ・緑陰深きところ [小学館] 遠田 潤子
- ・雷神 [新潮社] 道尾 秀介
- ・遠巷説百物語 [KADOKAWA] 京極 夏彦
- ・婿どの相逢席 [幻冬舎] 西條 奈加
- ・氷柱の声 [講談社] くどう れいん
- ・黒鳥の湖 [祥伝社] 宇佐美 まこと
- ・志麻さんの魔法のソースレシピ [マガジンハウス] 志麻
- ・九十歳のラブレター [新潮社] 加藤 秀俊
- ・雨でも晴れでも [織細さん] [幻冬舎] 武田 友紀
- ・他者の靴を履くーアナーキック・エンパシーのすすめー [文藝春秋] ブレイディ みかこ

### 【児童書】

- ・31センチの約束 [西日本新聞社] 嘉悦 洋 文/ながん 絵
- ・青春ノ帝国 [あすなろ書房] 石川 宏千花
- ・ギフト、ぼくの場合 [小学館] 今井 恭子
- ・うさぎちゃんうみへいく [金の星社] せな けいこ
- ・ぼくのすきなおじさん [絵本塾出版] 長 新太
- ・うしとぞん [小学館] 高畠 那生
- ・北里柴三郎と千円札物語 [ほるぷ出版] オフィス 303 編著
- ・消えゆくくらしのモノ事典 [岩崎書店] 岩崎書店編集部 編  
他 250冊ほど入りました。



## 司書おすすめの一冊

### 「世阿弥 最後の花」 一般書

藤沢 周 河出書房新社

永享6(1434)年5月、幽玄の美で室町の世を瞠目させた一人の男が流罪となった。世阿弥元清、72歳。咎なくしてなぜ、遠く佐渡へと流されたのか?そしてかの地でどう生き、何を見つけたのか?最晩年に到達した至高の舞と、秘められた「まことの花」。その謎と奇蹟の物語。



### 「万葉と令和をつなぐアキアカネ」 児童書

山口 進 写真・文 岩崎書店

アキアカネというとんぼを知っていますか?体が赤く赤とんぼとも呼ばれています。昔は日本中で見かけていたアキアカネですが、現在は大幅に数が減っているそうです。しかし、新潟県のある田んぼではアキアカネが数えきれないほど飛んでいるというのです。

昆虫写真家である作者の写真とともに、アキアカネと田んぼの関係について丁寧に書かれています。この本を読んで、ぜひアキアカネを探してみてください。



### 郷土の本 「九州文学 2021年夏号」

九州文学同人会 編集 花乱社

九州文学は1983年芥川賞作家、火野葦平らによって創刊された地方文芸雑誌です。今号では、久住連山を舞台にした山人海人さんの掌編、『山の、夜の、星の、』が掲載されています。久住の山にすむ妖精の親子の語りを通して、夜の山々の美しさを静かに描き出します。



## 読み聞かせにおすすめの一冊

### 「おおきなかべがあったとさ」

サトシン 文/広瀬 克也 絵 文溪堂

ある日、とつぜんネコの目の前に高いかべがあらわれた。さあ、どうする?とでものりこえられそうもないかべだったけれど、知恵を使って、勇気を出してのりこえていき…。次々と高くなっていくかべ。あなたならどうやってのりこえますか?

